事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部長寿社会課			■担当係	高齢福祉係		
■評価事業名称	ふれあいデイサービス事業						
■評価事業コード	043100 - 052 ■会計区分			一般会計			
	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり					
■総合計画での	■基本施策	施策 02 高齢者や障がい者などの自立した生活への支援					
	■施策	02 高齢者が活躍できる場の確保					
■事業の類型	05 ソフト事業(任意) ■政策・業務区分 政策			政策			
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの						
■法令等の名称							
■関連計画の名称							
■事 業 の 目的と概要	社会参加を促進し、孤独感の解消及び住み慣れた地域での自立生活の助長を図る。ひ 業 の 的と概要						

2. 細事業の活動実績情報

01 ふれあいデイ 在宅高齢者 サービス事業	市内全行政区138箇所、延べ開催回数
7 2/17	1,952回、延べ利用者29,003人、地域の協力者延べ9,409人、合計参加者38,412人

3. 投入コスト情報 (単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費	14,866	10,944	10,850	10,479	
人 件 費	494	1,718	162	315	
その他 (公債費・ 減価償却費等)					
フルコスト	15,360	12,662	11,012	10,794	

4. 評価指標等の状況

指 コ-	標指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	ふれあいデイサービスの開催 数(前年度実績)	2,432回	2,040回	1,949回	1,952回	H24は1回/月を予算化、 125行政区(138カ所)すべ
						てで実施した。
02	参加者数(前年度実績)	49,955人	40,694人	39,396人	38,412人	
03	介護認定抑制割合	99.88%	98.70%	98.44%	99.25%	実認定者数/予想認定者 数×100(%)

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

○ A. 順調

● B. 概ね順調

C. 遅れている

達成状況の分析

| 年々若干参加者数は減っているが、概ね順調。

問題点 : 課題等

,	社会参加を促進し、孤独感の解消及び住み慣れた地域での自立生活の助長を図るためひとり暮らし高齢者等に対し、自治公民館等を活用し介護予防の取り組みや啓発など各種サービスを提供することができた。	

-1. 直接的な受益者の範囲 ―

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される
- -2. 事業廃止の影響 -
- 大きな不利益やリスクが生じる
- (●) ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい
- -3. 国・県・民間との競合関係の有無 -
- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- (●) ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない
- 5. 施策の改善需要度(市民意識調査)・
 - 順位が高い
 - (順位が中程度
- 順位が低い

- -6. 施策の優先度(市民意識調査)
 - ◉ 順位が高い
 - 順位が中程度
 - 順位が低い

-7. 他市町村に比較しての優位性 -

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能
- 9. 経済性・効率性の向上
 - 今以上の効率化や改善は難しい
 - 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■今後の方向性

- I. 拡充
- Ⅳ. 民間活用・協働事業化
- I.継続
- V. 廃止·休止
- Ⅲ. 縮小・要改善
- VI. 完了

補足説明

家に閉じこもりがちな高齢者等に対し、趣味活動、レクリエーション 活動、介護予防活動及び生きがいづくりを地域の自治公民館で実 施している。H24は男性参加者の伸び悩みの原因究明のためニ ズ調査も実施し、今後改善策を検討することとしている。事業の継 続が必要である。